

日本共産党

ひめだ高宏ニュース

No.76

10.4.28

生活が苦しいとき 生活保護制度の活用を

生活保護は、働いているかどうかにかかわらず生活が苦しいとき、憲法25条や生活保護法にもとづいて、国民のたれもが(持ち家でも)権利として最低生活の保障を請求(申請)できる制度です。

国の責任で生活を守る制度

現在の生活保護法は、第二次世界大戦のあと、世界的な生存権(人間らしく住める権利)保障制度を確立する運動の流れと、民主主義とくらしを守る国民の要求と運動のなかで、1950年にできました。生活苦や貧困、病気は、個人の責任ではなく、政府の低賃金政策や貧しい健康・医療・福祉政策、労働政策、経済政策などの社会的要因によるものです。生活保護法は、こうした社会的要因による生活苦から、国

基準以下の収入なら対象に

このことから、不十分な面をもちながらも、生活保護基準は、少くとも国が決めた国民の「健康で文化的な最低生活」に必要な生活費の基準となっています。

食料(第1類)		光熱水(第2類)	
年令	基準額	世帯	基準額
0~2	19,020	1人	39,520
3~5	23,980	2人	43,740
6~11	31,000	3人	48,490
12~19	38,290	4人	50,200
家族・関代・地代(土地)		加算(扶)(重複調整あり)	
単身	35,000	障害1,2級 A1A2	24,970
2~6人	45,000	3級 B1	16,650
7人以上	54,000	母子	21,640

基準額(表)は、家族構成

こんにちは

県会議員の

ふじい健太郎

です。(その264)

4月25日、お隣の海南市の市会議員選挙がありました。定数が24人から22人に減らされたもとの

は消費税増税ではなく、大企業・高額所得者への減税分をもとにもとずく

4議席をめざし、得票数が得票率とも前回を上回って全員当選を果たすことができました。

をかかげて支持を訴えま

ご支援いただきました皆さまに、お礼を申し上げます。

ことなく、政治を前にあ

今年7月には参議院選挙が行われます。国民の期待を担って登場した民主党政権ですが、相次ぐ



ふじい健太郎 県会議員



基準額の計算のしかたは、食費（家族一人ひとりの年令による額の合計）と光熱水費（世帯人数による額）

申請前にぜひひめだに相談を

申請手続きは、市役所東庁舎/階の福祉事務所・生活保護課の相談窓口で行います。

「収入が少なく（少なく）生活が苦しいので、生活保護の申請をしたい」との意思がよれば、申請できます。

と住居費（借家、借地の金額：上限まで）の総計となります。（月額）障害者、母子、妊婦などの加算も。

しかし、申請そのものにてまどることもありませんので、相談窓口に行こうと思ったら、行く前に、私、ひめだ（080・1415・3951）または、日本共産党市会議員団（435・1113）に事前に相談す

ることをおすすめします。申請した後、申請世帯の資産（預貯金、生命保険など）や扶養義務者（親、子、兄弟姉妹）の調査など決定まで1カ月くらいかかります。決定されたら、申請した日から保護が開始されます。

制度は使ってこそ、その意味があります。必要ときは生活保護制度を活用しましょう。私、ひめだまでお気軽にご相談ください。

金をもらいながらやっている」と漁業の深刻な実態が話されました。

こんにちは 日本共産党です

また民主党政権の事業仕分けでは、投石（海に石を投げ、魚やイセエビなどが集まる場所を作る作業）の予算が削られてしまったそうです。漁業にと、て本当に必要なものも削られてしま

先田、串本町から那智勝浦町までの漁協を訪問し、懇談してきました。ある漁協では、「収入が低いから、後継者がいない。ほとんどの人は年

うのは、現場を知らずに実



吉田まさや (参院・選挙区)

態に合わないことをやっているからです。和歌山にあって、穴かせない漁業を切り捨てる政治に怒りを感じました。将来に希望を持って漁業

ポスター貼り出しにご協力を



和歌山県の共産党として、はめずらしい色使いの演説会告知ポスターができました。こくた恵二衆院議員の写真が入ったきれいなポスターです。お宅の外力ペーパーに貼らせてください。私、ひめだまでご連絡いただいたら貼りに伺います。

海南！万歳！4人全員当選

海南市議選の結果は、ふいい県議の文章のとおりです。海南の共産党として初の女性議員、下津から合併選挙後初の党市議として橋美恵子市議が誕生。期待が大きいだけ大変だけじやないかと思えます。私

は初めて選挙事務所に座りました。岡よしあきさんが4選を果たし、ホッとしました。候補者とは違う苦労を体験し遅水はせながら候補者の立ち位置が少しわかった気がします。この経験を生かしながら決意です。

友達と仲間が育ててくれたあ

4月25日に長男・広の結婚を祝う会がありました。民青や友人が実行委員会を作り半年かけて用意したとか。小・中学校からの友達

みんながうれしそうに記念撮影をしているのを見ていたら、ちよっとうるっとなりました。美しい花嫁さんとそのご家族にも感謝。